

2月13日

ワクチン、国内初承認へ

新型コロナ 先行接種17日にも

米製薬大手「ファイザー」と
ドイツのバイオ企業「ビオン
テック」が開発した新型コロ
ナウイルスのワクチンにつ
いて、厚生労働省の専門部
会は12日、承認することを
了承した。早ければ14日に
正式に承認され、17日にも
医療従事者への先行的な接
種を受ける契約を結んで

種が始まる見通し。新型コ
ロナのワクチンが承認され
るのは国内では初めて。
▼2面=いよいよ 7面=

輸送大作戦
厚生労働省の自治体向け説明資料
の適用を求めて申請した。
1月29日には日本人160
人を対象にした国内での治
験データを追加で提出。医
薬品医療機器総合機構(P
MDA)が審査していた。

12日前、ベルギー・ブリ
ュッセルから成田空港に到
着した。
同社は昨年12月、海外で
厚労省はファイザーから
年内に約1億4400万回
分(約7200万人分)の
供給を受けた契約を結んで

2月 医療従事者向け先行接種
中旬 (1万~2万人程度)

3月 その他の医療従事者
(約400万人)

3月 接種券の郵送開始
下旬 (高齢者から)

4月 高齢者
以降 (65歳以上、
(約3600万人))

基礎疾患のある人
(約820万人)
高齢者施設などの従事者
(約200万人)
60~64歳 (約760万人)
ワクチンによる供給量

? ワクチン供給量を
踏まえ広く接種

る見込み。筋肉への接種
となり、1回目の接種から
3週間を空けて2回目を接
種する。

ワクチンは14日にも正式
に承認され、その後、病気
の蔓延を防ぐために緊急の
必要がある「臨時接種」に
位置づけられる。費用は国
が負担し、希望者は無料で
接種できる。接種対象は全
国民で、接種を受けること
に努めなければならない

が努力義務」が課せられ
る。ただし、強制ではなく、
あくまで希望者が接種する
こととしている。

菅義偉首相は「有効性、

安全性を確認したうえで、
来週半ばに接種を開始す
る」としている。17日にも
国立病院機構など100カ
所の医療機関の医療従事者
1万~2万人程度を対象に
先行接種を始め、接種後の
健康状態や副反応について
調べる。

3月とその他の医療従事
者の接種を始め、次に優
先順位が高い高齢者の接種
は早くても4月1日以降と
なる。その後は基礎疾患が
ある人、高齢者施設の職員
などと続く予定だ。

アストラゼネカは5日に製
造販売の承認を厚労省に申
請。モルナは現在、国内
での治験を実施中で、5月
までの承認を目指してい

る。

ワクチンはRNAと呼ば
れる遺伝物質を使う。壊れ

る。

やすい物質で、零下75度前
後の保存が必要になる。

厚労省は専用の冷凍庫を確
保し、自治体などで接種に
向けた準備が進んでいる。

新型コロナワクチンでは
このほか、政府は英製薬大
手アストラゼネカと1億2
千万回分(8千万人分)、

米バイオ企業モルナと5
千万回分(2500万人分)

の供給契約を結んでいる。

アストラゼネカは5日に製
造販売の承認を厚労省に申
請。モルナは現在、国内
での治験を実施中で、5月
までの承認を目指してい

る。

（土肥修一、齋田光平）